

2026年3月期 連結決算の概要



2026/4/30
株式会社 有沢製作所

目次

- 2026年3月期 連結決算
- 2027年3月期 業績予想
- 参考資料

2026年3月期 通期 連結決算



(百万円)	25/3期 実績	26/3期 2/5予想	26/3期 実績	前期比	2/5 予想比
売上高	49,815	55,300	56,474	+13.4%	+2.1%
営業利益	4,893	5,500	5,805	+18.6%	+5.6%
営業利益率	9.8%	9.9%	10.3%		
経常利益	5,267	5,500	6,157	+16.9%	+12.0%
当期純利益	3,969	4,000	4,995	+25.8%	+24.9%
一株利益(円)	119.49	120.32 *	150.57	+26.0%	+25.1%
配当金(円)	合計 96.00	合計 97.00	合計 122.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均 期末	151.69 149.52	149.61 155.00	149.61 159.88	--	--

* 3月31日時点の期中平均株式数(見込み)で試算

■ 前期比

- 売上高 : 主に電子材料および産業用構造材料が増加し、前期比66億58百万円(13.4%)の増収。
- 営業利益 : 売上高の増加とそれに伴う操業度向上により、同9億12百万円(18.6%)の増益。
- 経常利益 : 同8億90百万円(16.9%)の増益。
- 当期純利益 : 助成金収入等の特別利益により、同10億26百万円(25.8%)の増益。

■ 2/5予想比

- 売上高 : 電子材料を筆頭に各セグメントとも増加し、予想比11億74百万円(2.1%)の増収。
- 営業利益 : 売上高の増加により、同3億5百万円(5.6%)の増益。
- 経常利益 : 同12.0%の増益。
- 当期純利益 : 同24.9%の増益。

(百万円)	25/3期 通期実績	26/3期 通期予想(2/5)	26/3期 通期実績	前期比 増減	
売上高	49,815	55,300	56,474	+6,658	電子材料、産業用構造材料の増収
売上総利益	11,621 (23.3%)		13,417 (23.8%)		
販売費及び一般管理費	6,728		7,612		
営業利益	4,893 (9.8%)	5,500 (9.9%)	5,805 (10.3%)	+912	増収、操業度の向上
為替差損益	241		151		
その他営業外損益	133		201		
経常利益	5,267 (10.6%)	5,500 (9.9%)	6,157 (10.9%)	+890	
有価証券売却益	2		107		関連会社株式等の売却 助成金収入等
その他特別損益	-6		315		
税引前利益	5,263	5,500	6,579		
法人税等他	1,294		1,584		
親会社に帰属する当期純利益	3,969 (8.0%)	4,000 (7.2%)	4,995 (8.8%)	+1,026	

※()内は利益率を表す。

貸借対照表

(百万円)	25/3期	26/3期	増減	
資産の部				
流動資産	49,527	54,001	+4,474	現金預金 Δ 1,620、売掛債権 +5,232、棚卸資産 +1,010
有形固定資産、無形固定資産	19,065	23,948	+4,883	設備投資(主にイノベーションセンター)
投資有価証券	1,969	1,929	Δ 40	
その他の資産	1,175	1,158	Δ 17	
資産合計	71,736	81,039	+9,302	
負債・純資産の部				
流動負債	18,583	26,645	+8,062	買掛債務 +1,043、短期借入金 +6,062
固定負債	4,594	3,705	Δ 889	長期借入金 Δ 677
負債合計	23,177	30,351	+7,173	
株主資本	44,147	45,186	+1,039	利益剰余金 +1,730、自己株式 Δ 705
その他包括利益合計、新株予約権	4,412	5,501	+1,089	為替換算調整勘定 +943
負債純資産合計	71,736	81,039	+9,302	

2026年3月期 通期の前期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 実績	26/3期 実績	増減	25/3期 実績	26/3期 実績	増減
電子材料	31,477	35,882	+4,405	2,854	3,558	+704
FPC用材料(有沢製作所)	17,520	19,376	+1,856			
FPC用材料(ThinFlex)	10,092	11,808	+1,716			
ICGC、プリプレグ	2,067	2,776	+709			
プリント配線板(サトーセン)	1,798	1,922	+124			
産業用構造材料	10,616	13,731	+3,115	1,762	2,901	+1,139
ハニカムパネル	1,160	2,508	+1,348			
水処理用FRP製圧力容器	7,254	8,257	+1,003			
その他	2,202	2,966	+764			
電気絶縁材料	2,457	2,546	+89	170	264	+94
ディスプレイ材料	4,913	3,973	△939	1,729	833	△896
関連商品・その他	352	339	△13	210	233	+23
合計	49,815	56,474	+6,658	6,725	7,792	+1,067
			全社費用	△1,832	△1,987	
			営業利益	4,893	5,805	+912

■ 売上高：主に電子材料および産業用構造材料が増加し、前期比66億58百万円(13.4%)の増収。

- 電子材料の売上高は、スマートフォンおよび半導体向けが好調に推移し、同14.0%の増収。
- 産業用構造材料は、航空機内装材および水処理用圧力容器が好調に推移し、同29.3%の増収。
- ディ스플레이材料は、3D関連材料および偏光利用部材が軟調で、同19.1%の減収。

■ 営業利益：電子材料・産業用構造材料の売上高の増加とそれに伴う操業度向上により、同18.6%の増益。

- 内容の詳細については、8～10ページに記載。



2026年3月期 通期の2月5日予想との増減分析



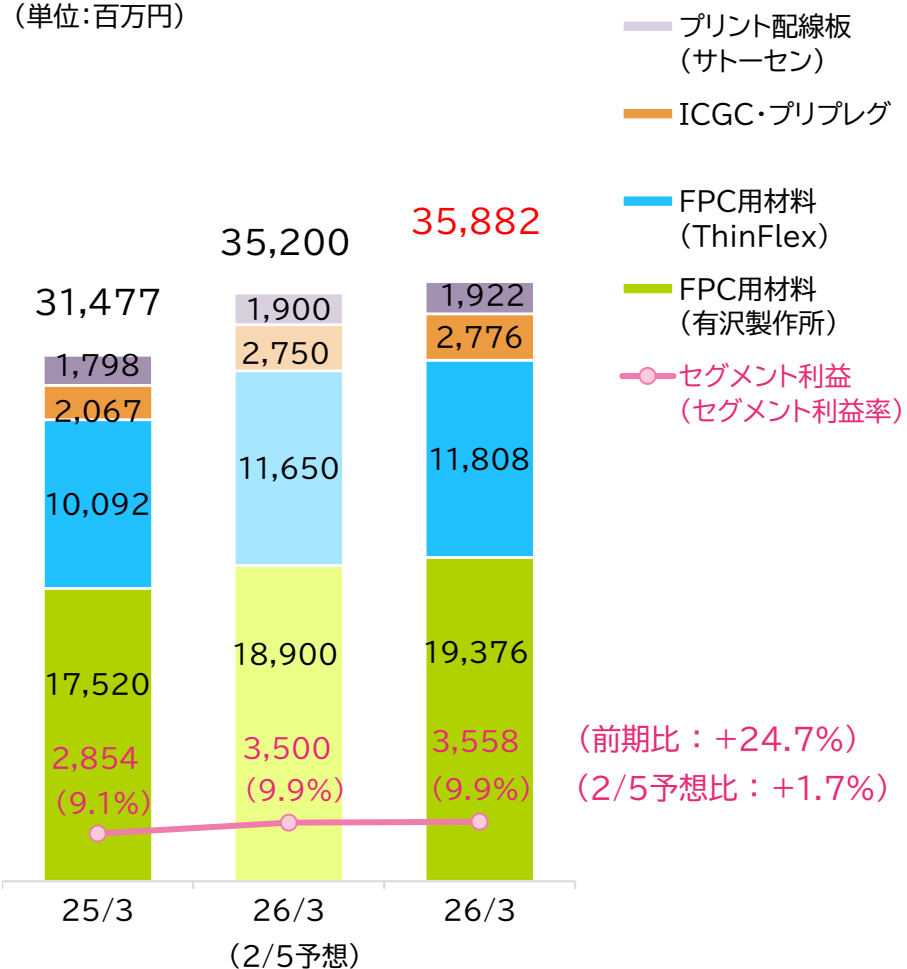
(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 2/5予想	26/3期 実績	増減	26/3期 2/5予想	26/3期 実績	増減
電子材料	35,200	35,882	+682	3,500	3,558	+58
FPC用材料(有沢製作所)	18,900	19,376	+476			
FPC用材料(ThinFlex)	11,650	11,808	+158			
ICGC、プリプレグ	2,750	2,776	+26			
プリント配線板(サトーセン)	1,900	1,922	+22			
産業用構造材料	13,500	13,731	+231	2,850	2,901	+51
ハニカムパネル	2,500	2,508	+8			
水処理用FRP製圧力容器	8,300	8,257	△43			
その他	2,700	2,966	+266			
電気絶縁材料	2,500	2,546	+46	250	264	+14
ディスプレイ材料	3,800	3,973	+173	700	833	+133
関連商品・その他	300	339	+39	200	233	+33
合計	55,300	56,474	+1,174	7,500	7,792	+292
			全社費用	△2,000	△1,987	
			営業利益	5,500	5,805	+305

- 売上高：電子材料を筆頭に、各セグメントとも予想を上回り、11億74百万円（予想比2.1%）の増収。
 - 電子材料は、スマートフォンおよび半導体(PC、AIサーバー向けなど)の堅調な需要に支えられた。
 - 産業用構造材料は、車載材料が予想を上回った。
 - ディ스플레이材料は、3D関連材料が下期に入り復調傾向となり、予想比売上が増加。

- 営業利益：売上高の増加により同5.6%の増益。
 - 内容の詳細については、8～10ページに記載。

電子材料 売上高

(単位:百万円)



市場

- スマートフォンおよび半導体(PC、AIサーバー向けなど)の需要が堅調に推移している。

業績 ・ 前期比

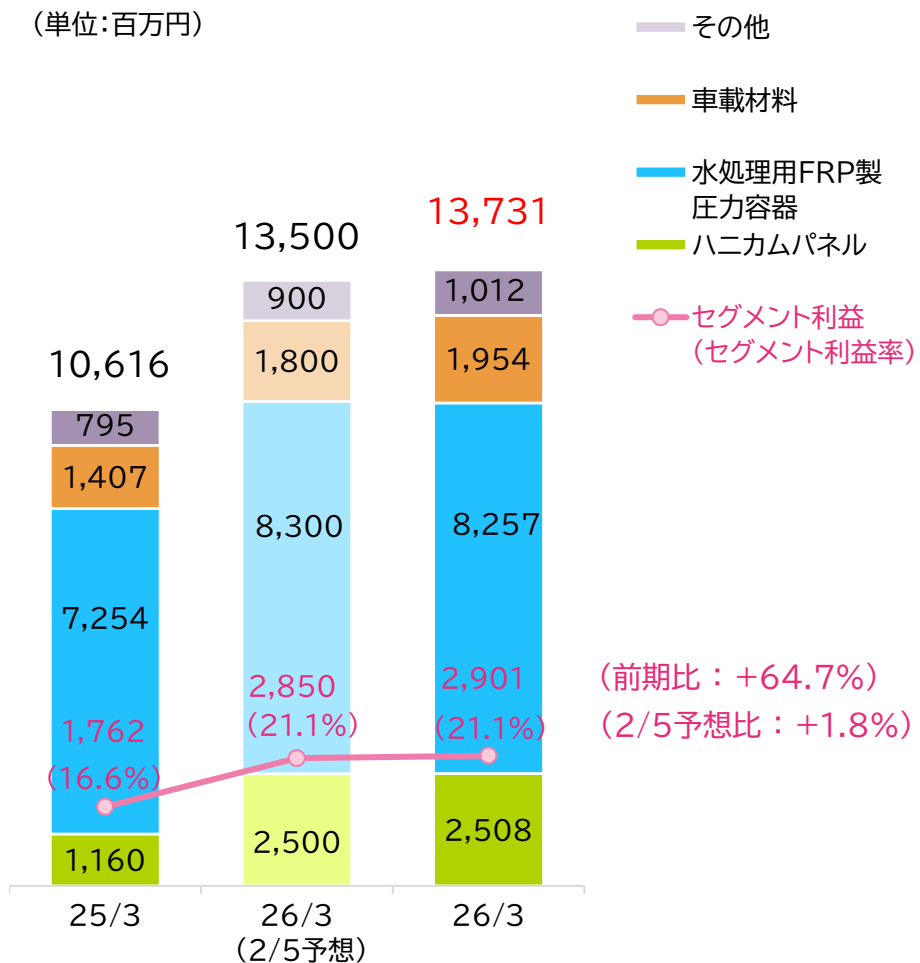
- FPC用材料、ICGC・プリプレグ、プリント配線板、全ての製品群において増加し、前期比44億5百万円(14.0%)の増収。
 - FPC用材料(有沢製作所)は、スマートフォンおよび半導体向けが強く、同10.6%の増収。
 - FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォン向けが伸び、同17.0%の増収。
 - ICGC・プリプレグは、半導体向け中心に同34.4%の増収。
 - プリント配線板は、同6.9%の増収。
- 売上高の増加により、セグメント利益は同7億4百万円(24.7%)の増益。

業績 ・ 2/5予想比

- FPC材料を筆頭に堅調に推移し、売上高は予想比6億82百万円(1.9%)の増収。
- セグメント利益は同58百万円(1.7%)の増益。

産業用構造材料 売上高

(単位:百万円)



市場

- 世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が好調に推移している。
- 航空需要は緩やかに回復を続けている。

業績 ・ 前期比

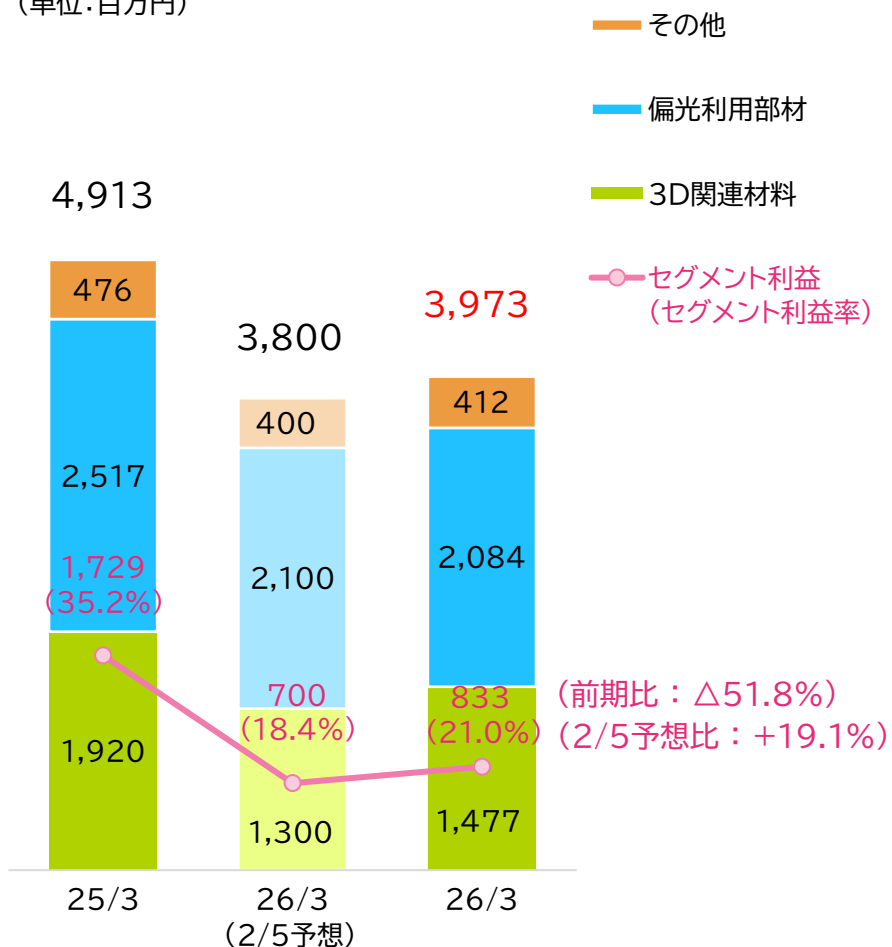
- 航空機内装用ハニカムパネルの需要回復、水処理用FRP製圧力容器が好調に推移したこと等により、前期比29.3%増収。
 - ハニカムパネルは同2.2倍の増収。
 - 水処理用FRP製圧力容器は同13.8%の増収。
 - 車載材料は、同38.8%の増収。
- 売上高の増加とそれに伴う操業度の向上、品種構成の良化により、セグメント利益は同11億39百万円(同64.7%)の増益。

業績 ・ 2/5予想比

- 車載材料が堅調に推移し、2億31百万円(予想比1.7%)の増収。セグメント利益は同1.8%の増益。

ディスプレイ材料 売上高

(単位:百万円)



市場

- 3D関連材料は、上期は軟調であったが、下期は復調傾向で推移。

業績 ・ 前期比

- 3D関連材料および偏光利用部材の売上が減少し、9億39万円(前期比19.1%)減収。
- 3D関連材料は、同23.1%減収。
- 偏光利用部材は、同17.2%減収。
- 減収により、セグメント利益は8億96百万円(同51.8%)の減益。

業績 ・ 2/5予想比

- 3D関連材料が下期に入り復調傾向となり、売上高・セグメント利益とも予想を上回る。

目次

- 2026年3月期 連結決算
- 2027年3月期 業績予想
- 参考資料



2027年3月期 連結業績予想



(百万円)	26/3期 上期 実績	26/3期 通期 実績	27/3期 上期 4/30予想	前年 同期比	27/3期 通期 4/30予想	前期比
売上高	26,537	56,474	31,000	+16.8%	61,300	+8.5%
営業利益	2,454	5,805	2,600	+5.9%	5,900	+1.6%
営業利益率	9.3%	10.3%	8.4%		9.6%	
経常利益	2,154	6,157	2,600	+20.7%	5,700	△7.4%
純利益	1,562	4,995	1,700	+8.8%	4,000	△19.9%
一株利益(円)	47.00	150.57	51.87*	+10.4%	122.04*	△18.9%
配当金(円)	44.00	合計 122.00	49.00	--	合計 98.00	--
為替レート (円/\$) 平均	148.40	149.61	156.50	--	153.00	--
期末	148.88	159.88	150.00	--	150.00	--

* 3月31日現在の発行済株式数で試算

業績予想(通期)

- 売上高は、主に電子材料が増加し、48億26百万円(前期比8.5%)の増収。
- 営業利益は、品種構成の変化により95百万円(同1.6%)の増益にとどまる。
- 経常利益は、支払利息の増大、為替差損の発生を見込み4億57百万円(同7.4%)の減益。
- 当期純利益は、前期に計上した助成金収入等の特別利益の減少により、9億95百万円(同19.9%)の減益。

2027年3月期 上期予想の前年同期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 実績	27/3期 4/30予想	増減	26/3期 実績	27/3期 4/30予想	増減
電子材料	17,217	20,700	+3,483	1,685	2,200	+515
FPC用材料(有沢製作所)	9,719	11,000	+1,281			
FPC用材料(ThinFlex)	5,286	7,100	+1,814			
ICGC、プリプレグ	1,308	1,500	+192			
プリント配線板(サトーセン)	904	1,100	+196			
産業用構造材料	6,081	6,900	+819	1,218	750	△468
ハニカムパネル	999	1,550	+551			
水処理用FRP製圧力容器	3,825	4,000	+175			
その他	1,257	1,350	+93			
電気絶縁材料	1,265	1,150	△115	92	100	+8
ディスプレイ材料	1,804	2,050	+246	324	500	+176
関連商品・その他	168	200	+32	120	100	△20
合計	26,537	31,000	+4,463	3,441	3,650	+209
			全社費用	△987	△1,050	
			営業利益	2,454	2,600	+146

■ 市場予想

- スマートフォンや半導体の堅調な需要が継続する。
- ハニカムパネルは、回復基調が続く。
- 3D関連材料の受注は、回復傾向にある。

■ 業績予想

- 電子材料、産業用構造材料、ディスプレイ材料の売上増により、売上高は44億63百万円(前年同期比16.8%)の増収を見込む。
- 営業利益は、品種構成の変化により1億46百万円(同5.9%)の増益にとどまる。

2027年3月期 通期予想の前期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 実績	27/3期 4/30予想	増減	26/3期 実績	27/3期 4/30予想	増減
電子材料	35,882	40,600	+4,718	3,558	4,500	+942
FPC用材料(有沢製作所)	19,376	21,400	+2,024			
FPC用材料(ThinFlex)	11,808	13,800	+1,992			
ICGC、プリプレグ	2,776	3,100	+324			
プリント配線板(サトーセン)	1,922	2,300	+378			
産業用構造材料	13,731	13,900	+169	2,901	2,100	△801
ハニカムパネル	2,508	3,100	+592			
水処理用FRP製圧力容器	8,257	8,000	△257			
その他	2,966	2,800	△166			
電気絶縁材料	2,546	2,200	△346	264	200	△64
ディスプレイ材料	3,973	4,200	+227	833	1,000	+167
関連商品・その他	339	400	+61	233	200	△33
合計	56,474	61,300	+4,826	7,792	8,000	+208
			全社費用	△1,987	△2,100	
			営業利益	5,805	5,900	+95

■ 市場予想

- スマートフォンや半導体の堅調な需要が継続する。
- ハニカムパネルは、回復基調が続く。
- 3D関連材料の受注は、回復傾向が継続する。

■ 業績予想

- 主に電子材料の売上増により、売上高は48億26百万円(前期比8.5%)の増収を見込む。
- 営業利益は、品種構成の変化により95百万円(同1.6%)の増益にとどまる。

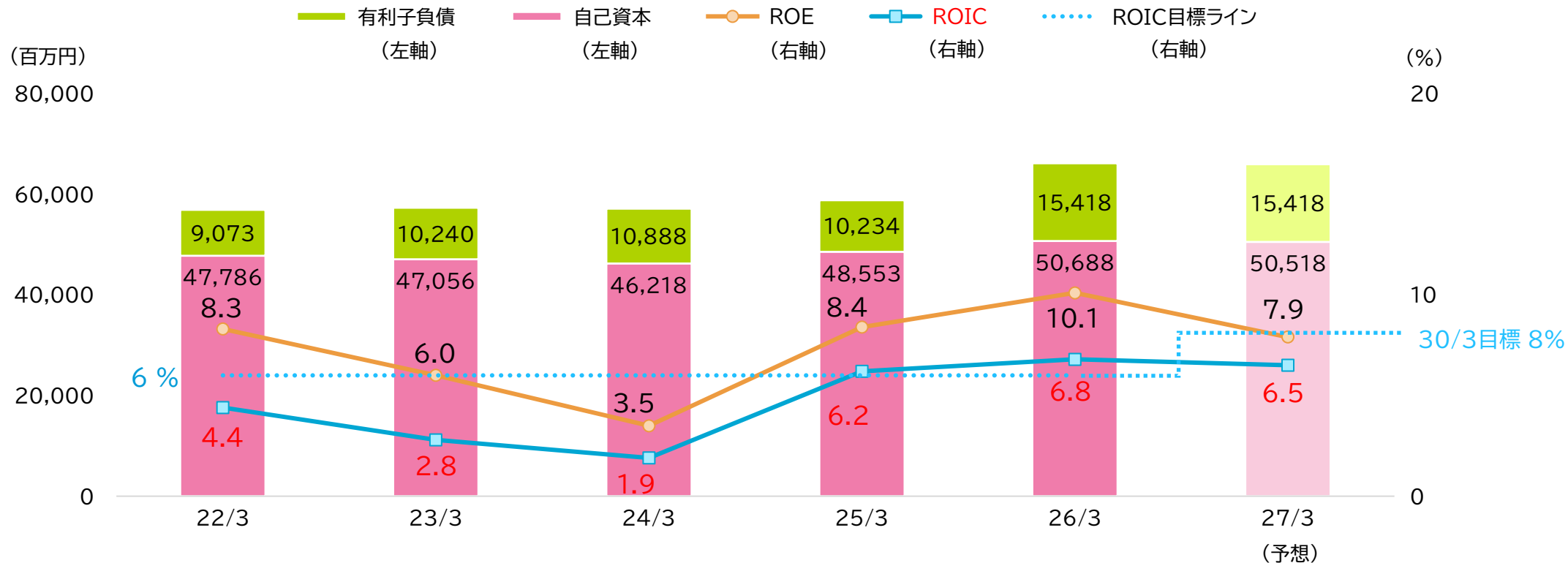


ROE・ROICの推移



ROE = 当期純利益 / 自己資本

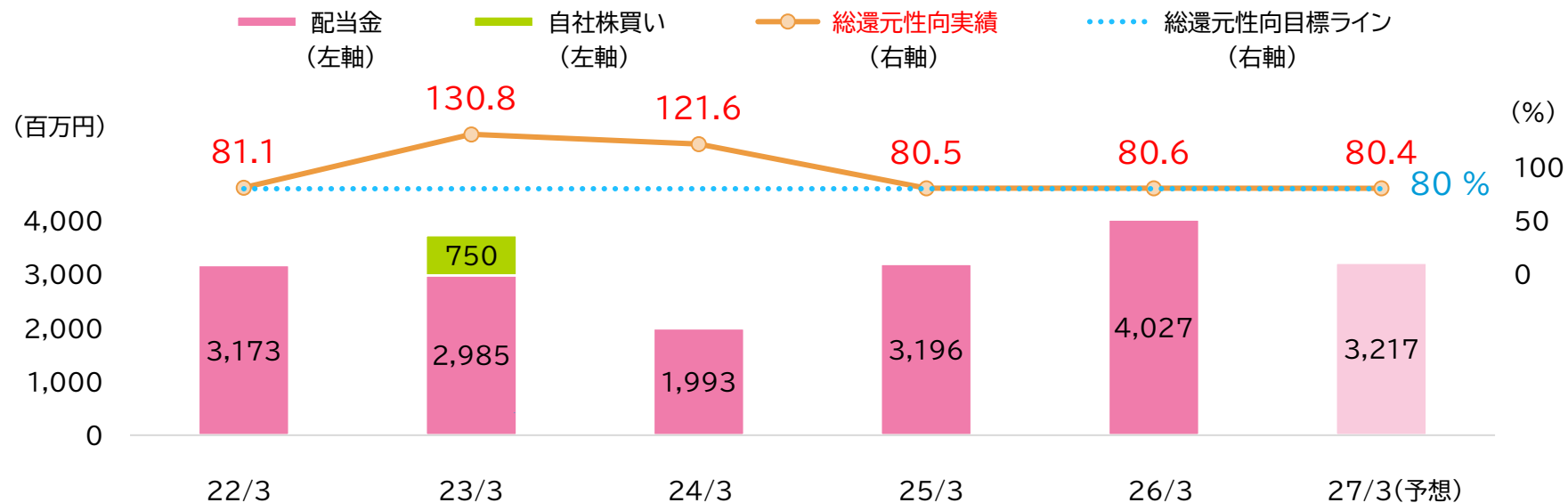
ROIC = 税引き後営業利益 / (自己資本 + 有利子負債)



- 26年3月期のROICは、営業利益の増加により6.8%。
- 27年3月期のROICは、6.5%を見込む。



配当金・総還元性向の推移



株価(円/株) *	957	1,254	1,137	1,384	2,267	—
年間配当金(円/株)	95	90	60	96	122	合計 98
配当利回り(%)	9.9	7.2	5.3	6.9	5.4	—

* 各年度末の終値

- 26年3月期の期末配当金は、従来予想の1株当たり53円から25円を増配し、1株当たり78円に修正。
- この結果、中間期配当44円と合わせて年間配当金は122円となり、26年3月期の総還元性向は80.6%。

株主還元方針

- 安定性を志向した指標である「株主資本配当率(DOE)6%」と「総還元性向 80%以上」のいずれか高い方を株主還元とする。
(適用期間:自己資本比率 50%程度を達成できる時期まで)

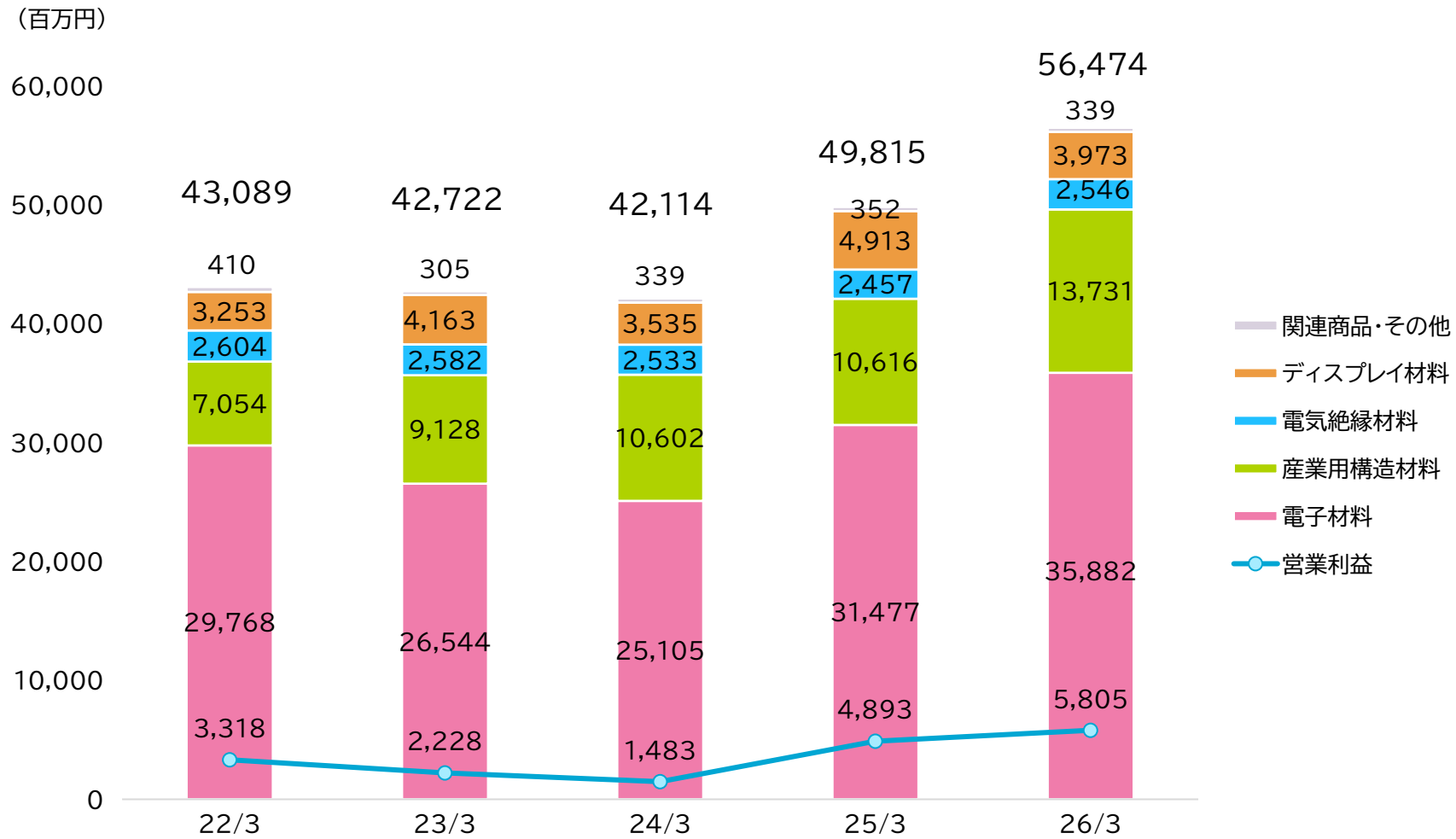
目次

- 2026年3月期 連結決算
- 2027年3月期 業績予想
- 参考資料

会社別 通期業績(前期比・予想比)

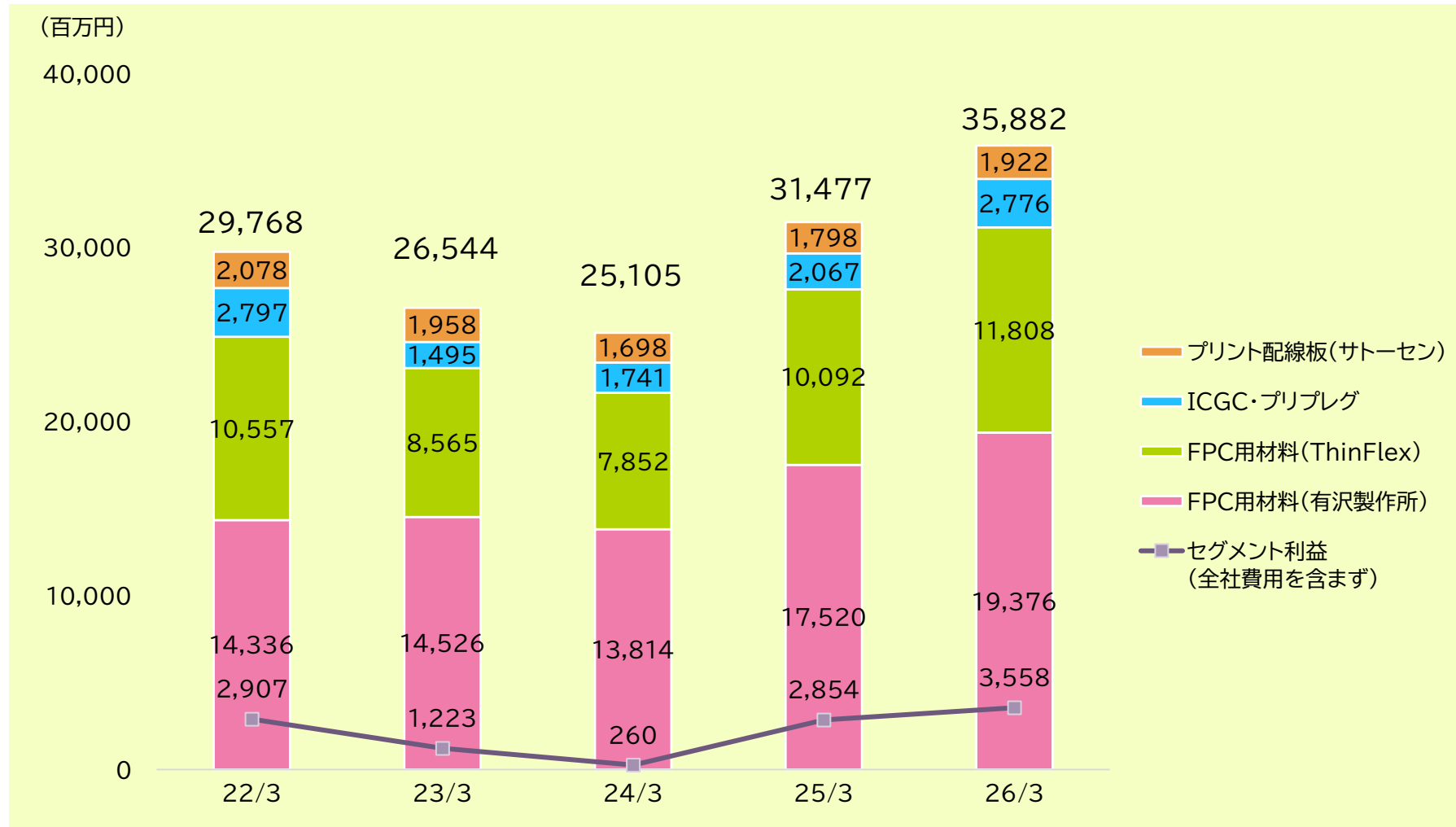
(百万円)	売上高					営業利益				
	25/3期 実績	26/3期 予想 (2/5)	26/3期 実績	増減		25/3期 実績	26/3期 予想 (2/5)	26/3期 実績	増減	
				対前期	対予想				対前期	対予想
単体										
有沢製作所	30,267	33,600	34,916	4,649	1,316	2,707	3,000	3,338	631	338
連結会社										
シンフレックス	12,173	13,300	13,328	1,155	28	318	170	166	-152	-4
サトーセン	1,800	1,900	1,923	123	23	47	40	36	-11	-4
アリサワファイバーグラス	2,255	2,750	2,817	562	67	61	270	258	197	-12
プロテック	7,105	8,100	8,067	962	-33	1,144	1,570	1,562	418	-8
有沢総業	1,924	2,100	2,158	234	58	110	130	150	40	20
有沢樹脂工業	268	350	373	105	23	27	60	52	25	-8
カラーリンク・ジャパン	2,518	2,100	2,094	-424	-6	470	250	229	-241	-21
(連結消去額)	-8,495	-8,900	-9,202			9	10	14		
合計	49,815	55,300	56,474	6,658	1,174	4,893	5,500	5,805	912	305

年度別／分野別の業績推移(売上高・営業利益)



'22年3月期から収益認識基準を適用。

電子材料の売上高推移



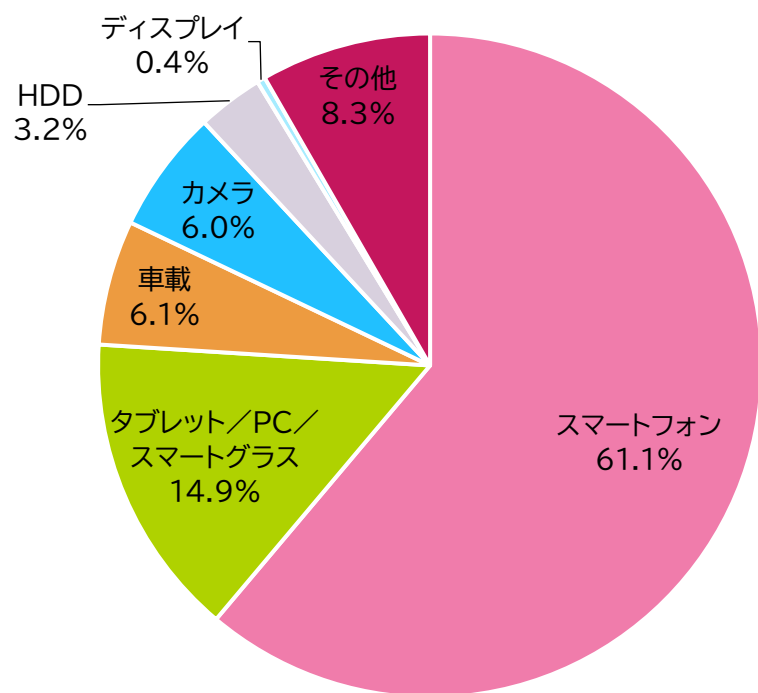
'22年3月期から収益認識基準を適用。



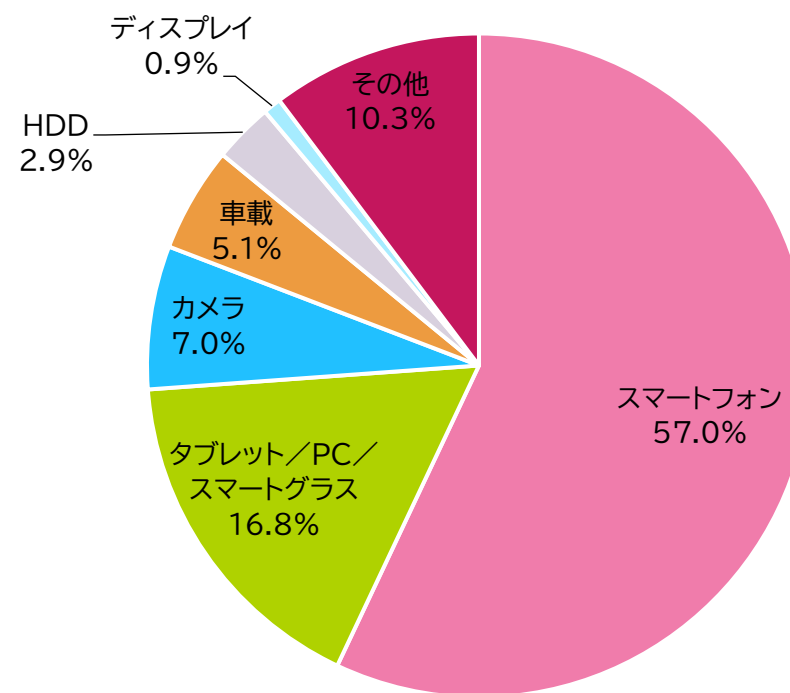
当社製FPC材料の用途



2025年3月期

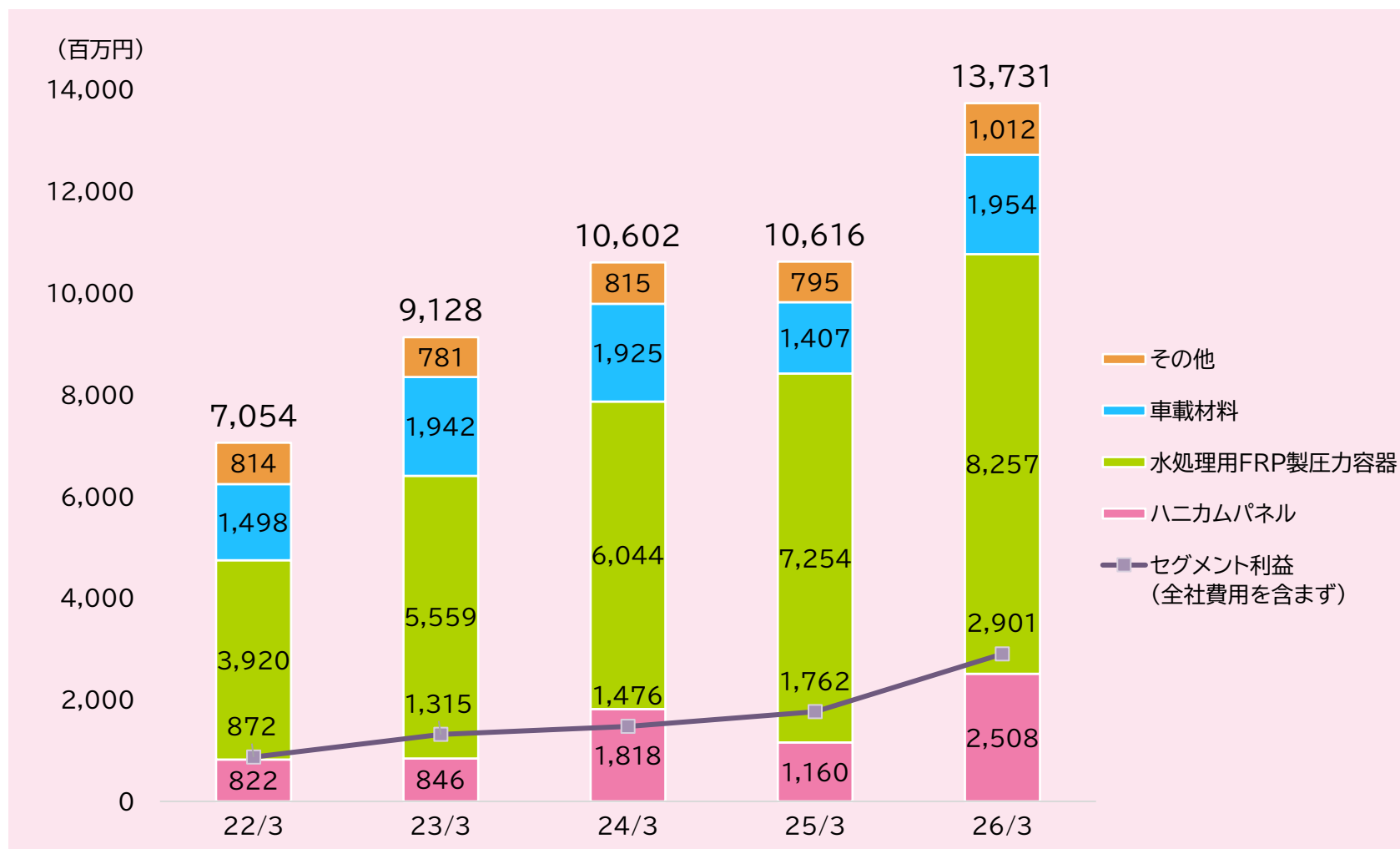


2026年3月期



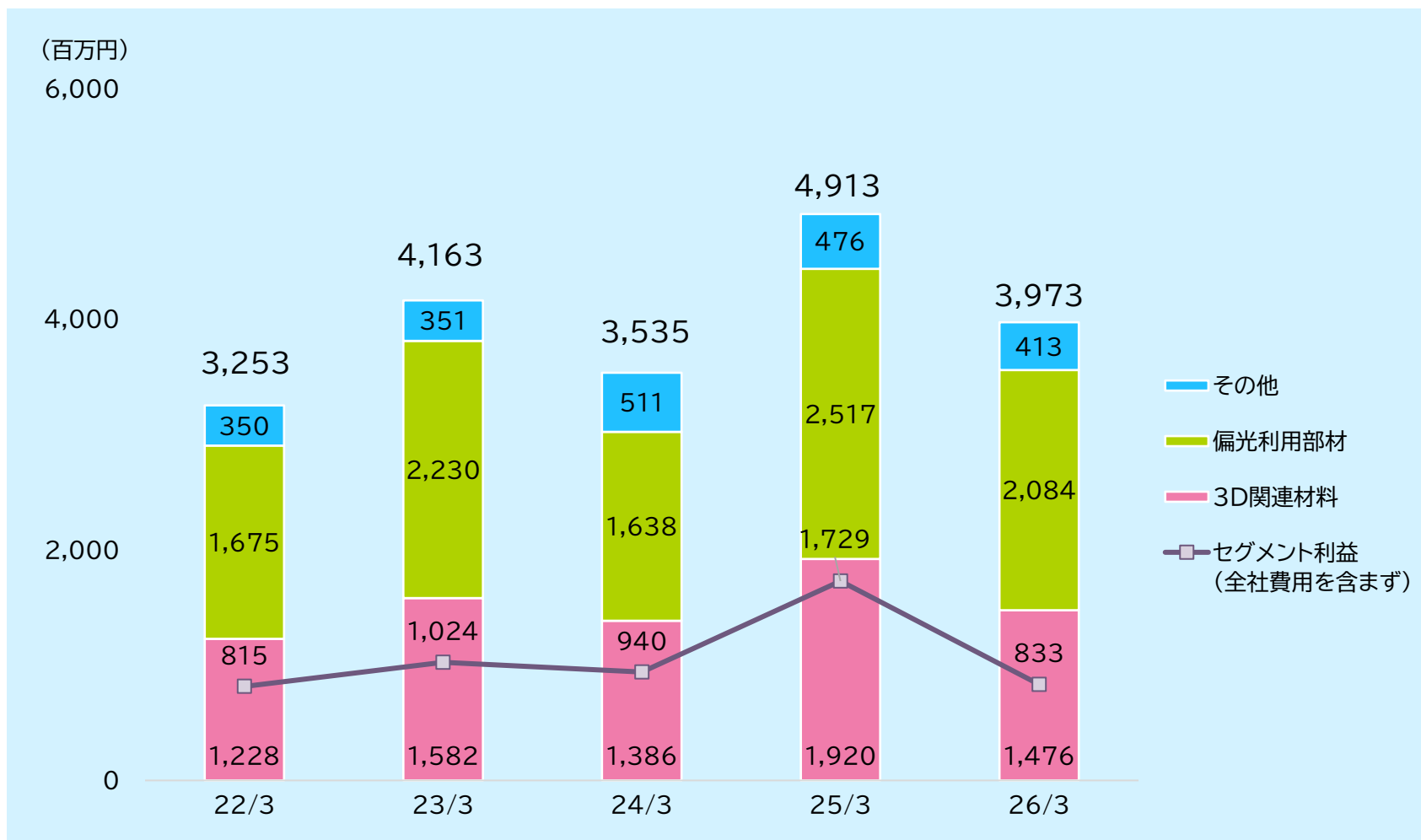
数量ベース
出所:当社推定

産業用構造材料の売上高推移



'22年3月期から収益認識基準を適用。

ディスプレイ材料の売上高推移



'22年3月期から収益認識基準を適用。

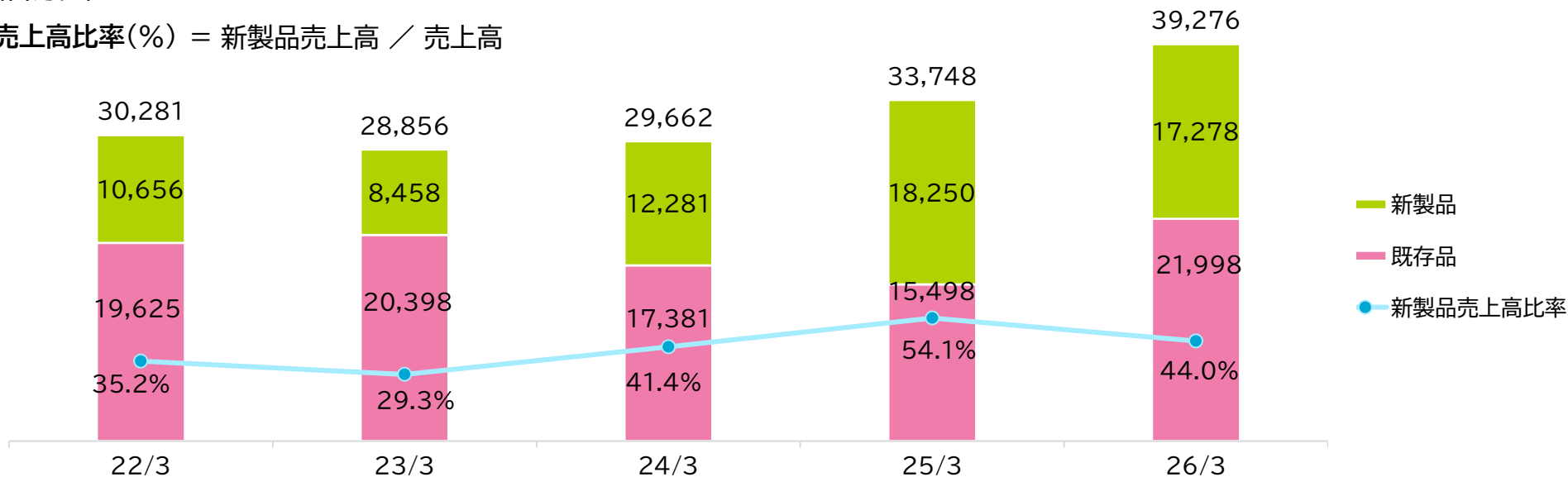
新製品売上高の推移(単体:月次決算ベース)

差異化製品・応用製品＋環境配慮製品の開発により収益力強化

目標値:新製品売上高比率50%以上

売上高(百万円)

新製品売上高比率(%) = 新製品売上高 / 売上高



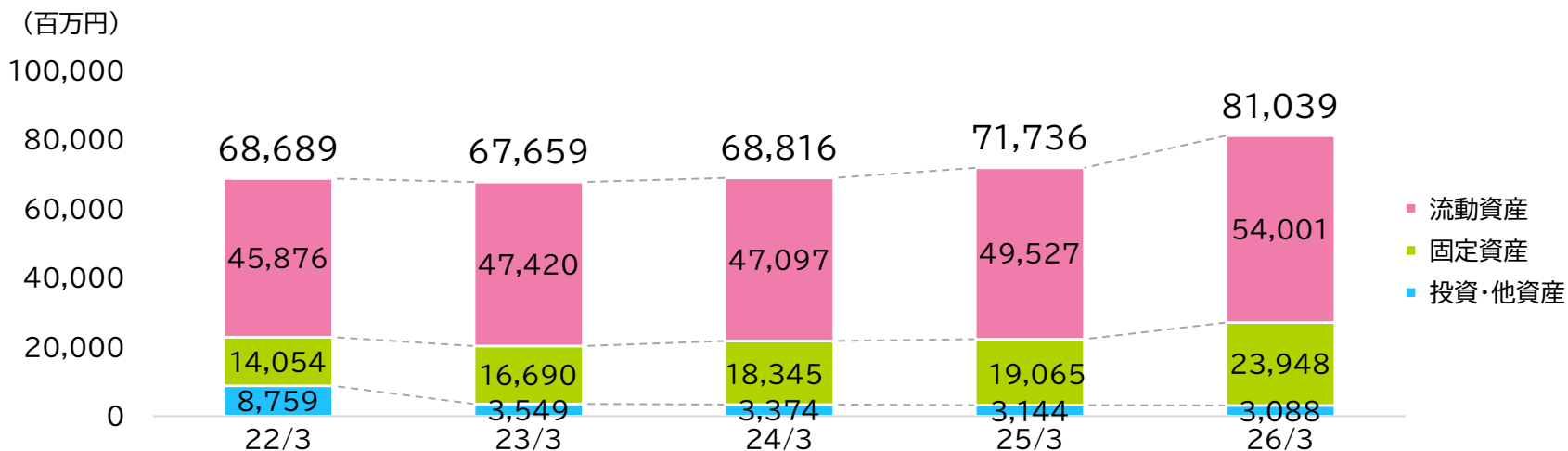
新製品の分類と要件

- P(Pure) 新規材料・配合・効果、新規加工方法。特許出願またはそれに相当する内容
- T(Technical) 大幅な工程改善・生産性向上、材料・配合の切り替え・改良
- S(Sales) 用途展開、モデルチェンジ
- E(Eco) CO2 削減効果のある材料・加工方法の採用や用途、顧客工程でのCO2 削減 …’ 23年3月期より採用
- E-C(E-CO2) 既存品の製造条件の見直しによりエネルギー使用量を削減 …’ 24年3月期下期より採用

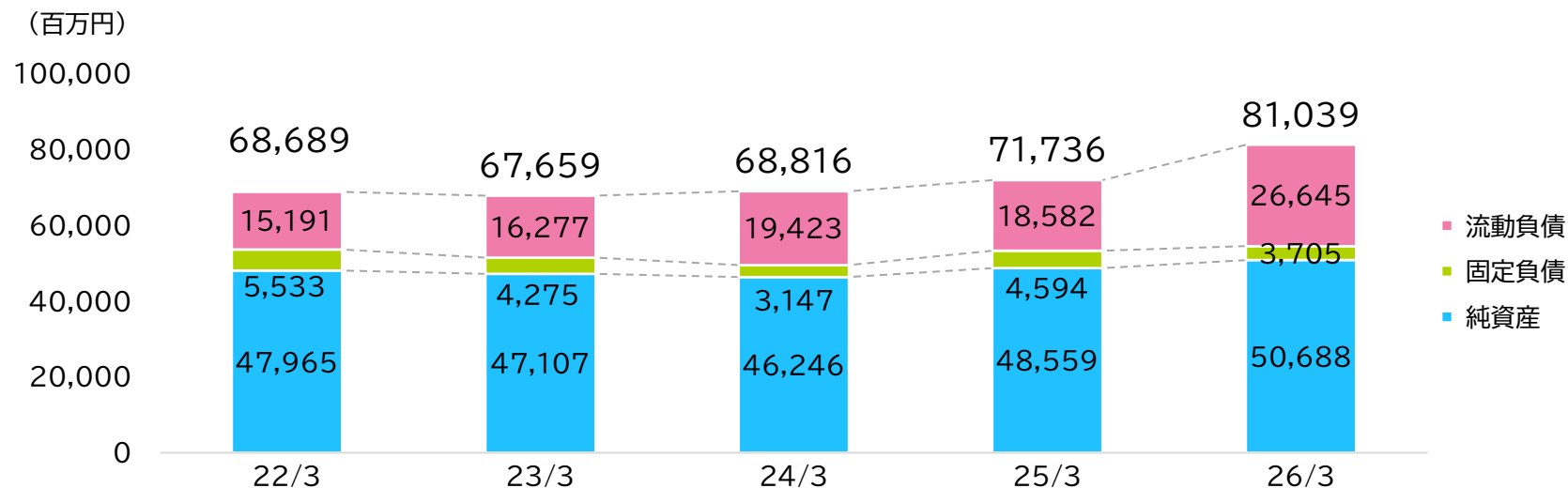
新製品のカウント期間は、発売後3年間。

連結貸借対照表(要旨)の推移

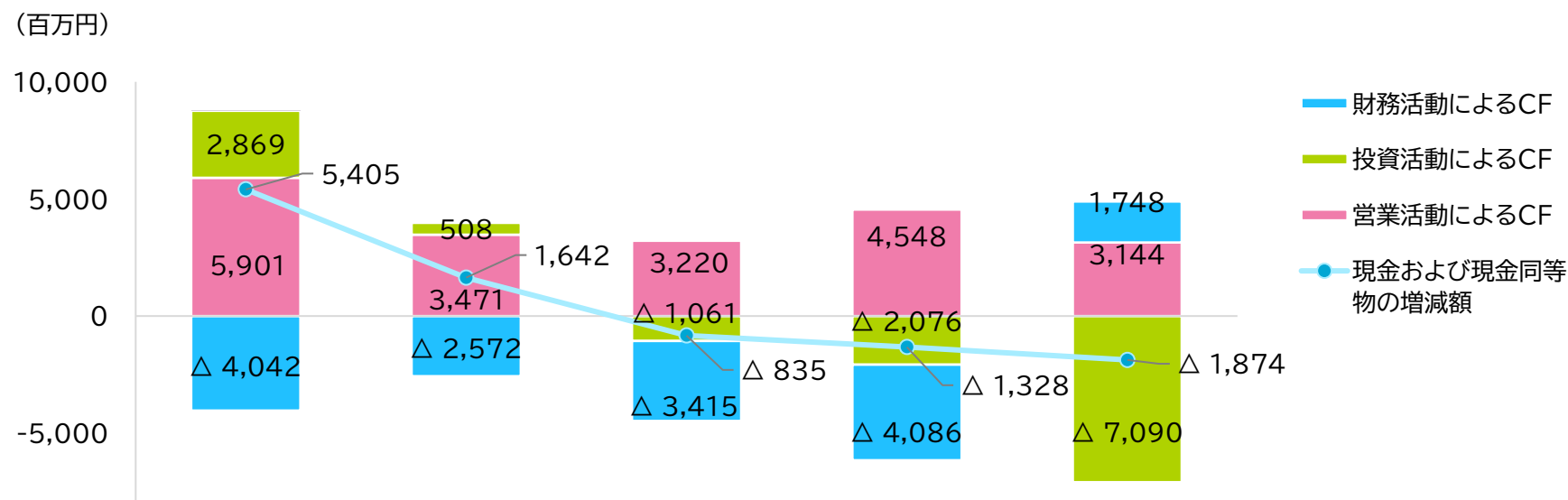
資産の部



負債・純資産の部

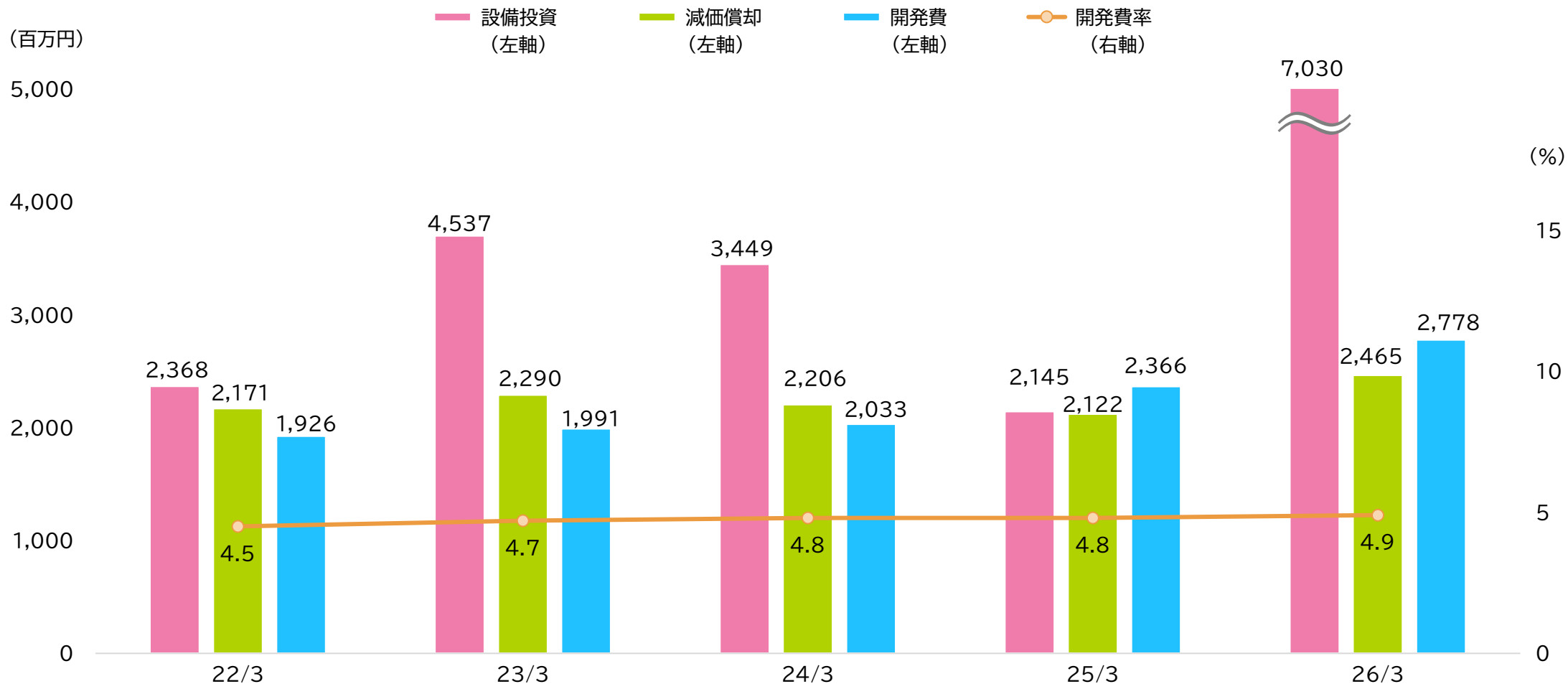


連結キャッシュフローの推移



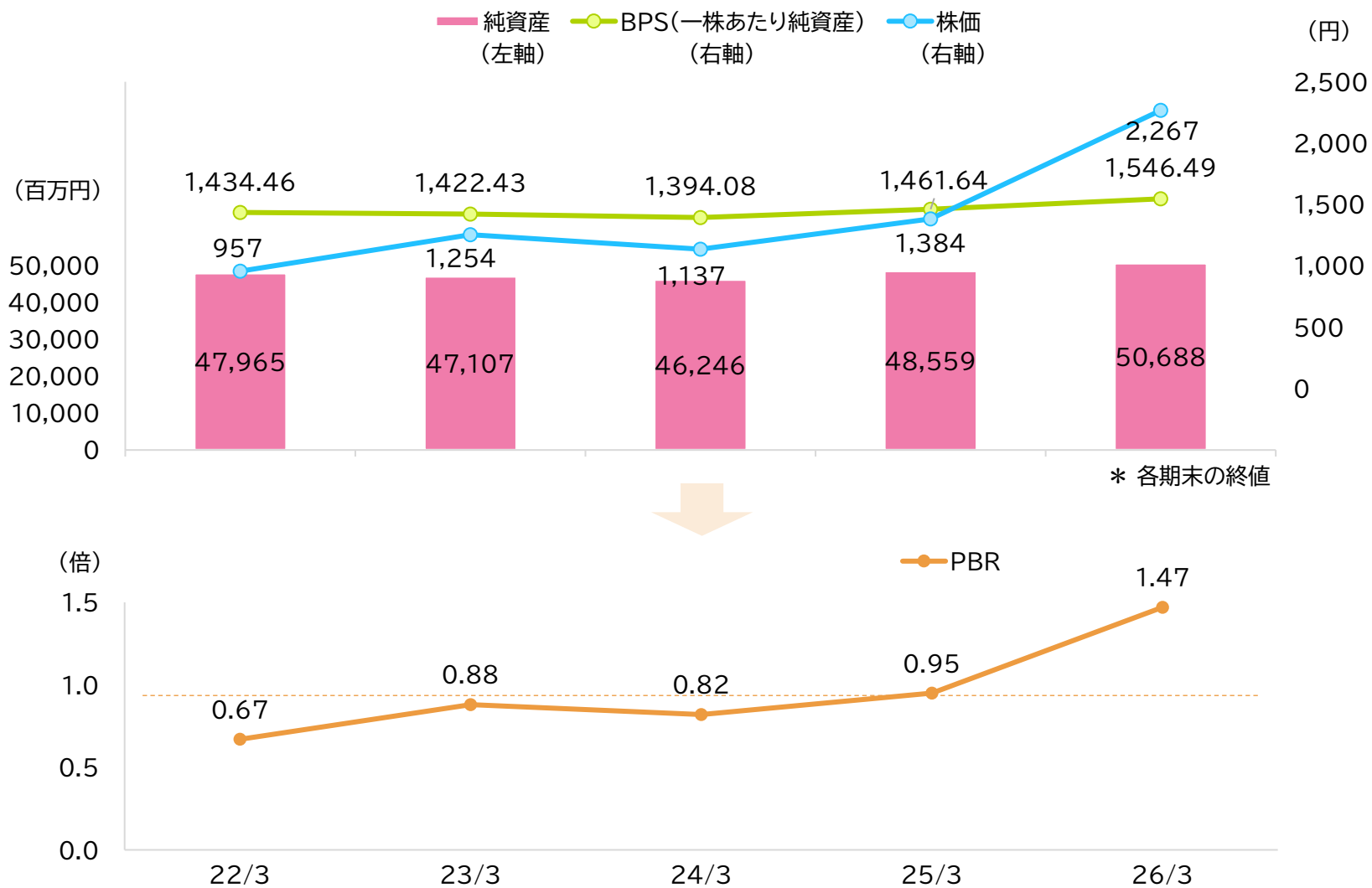
	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
営業活動によるCF	5,901	3,471	3,220	4,548	3,144
法人税等の支払	889	△1,588	△1,016	△559	△1,517
投資活動によるCF	2,869	508	△1,061	△2,076	△7,090
有形・無形固定資産の取得による支出	△2,007	△4,375	△3,779	△2,250	△6,914
投資有価証券の売却による収入	3,235	6,411	1,087	168	692
財務活動によるCF	△4,042	△2,572	△3,415	△4,086	1,748
配当金の支払	△1,463	△3,000	△3,641	△2,723	△3,258
自己株式の取得による支出	△82	△748		△122	
ThinFlexの完全子会社化による支出	△2,439				

設備投資・減価償却費・開発費の推移





PBR(株価純資産倍率)の推移



本資料は、株式会社有沢製作所(以下当社)による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。